



第47号
2017年10月28日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://saicl.net/>

歌っていいな

—着任のあいさつ—



埼玉県教育委員会教育長
埼玉県合唱連盟顧問

小松弥生



朝日新聞さいたま総局長

時枝秀樹

平成29年6月19日付けで埼玉県教育委員会教育長に就任いたしました小松弥生と申します。また、このたびは埼玉県合唱連盟の顧問を仰せつかりました。本県の教育・文化行政に携わる者として、微力ながらも貴連盟に助力させていただく所存です。

貴連盟は、現在350余りの団体が加盟する県内有数の芸術文化団体であり、昭和32年の創設以来、合唱音楽の普及発展を図り、郷土埼玉の文化の向上に資するため、様々な活動を積極的に展開しております。関係者の皆様方の御尽力に、深く敬意を表します。

合唱は喜びや情熱を加味しながら、仲間が心を一つにしてつくりあげる芸術です。合唱には、歌に込められた想いを表現することで自己表現力が高められるとともに、互いの気持ちを思いやりながら、豊かな人間関係を築き、絆を深める力があります。

埼玉県教育委員会といたしましても、「第2期生きる力と絆の埼玉教育プラン」の中で、「文化芸術の振興」を施策に掲げ県民の文化芸術活動の充実を図っており、文化芸術の力を活用し、心豊かで活力ある埼玉づくりに引き続き積極的に取り組んでまいります。

結びに、埼玉県合唱連盟の今後ますますの御発展を祈念申し上げ、挨拶いたします。

「歌っていいな」

合唱とは縁遠かった私が6月、初めて県合唱祭にお邪魔して老若男女のコーラスの中で半日を過ごした時、思わず口をついて出たのがこの言葉でした。8月の県合唱コンクールでも、同じことを何度も思いました。

この曲いいな、ではなく、音楽っていいな、でもない。どうして「歌っていいな」なんだろう。そもそも「歌」って何だろう。そんなことを考えました。

歌とはまず歌うこと。言葉とメロディーに自分の想いを乗せること。でも、聴くことも含めて歌なんじゃないか。歌に乗って届いた想いに共感する。共感してまた歌う。それが「歌」じゃないか。誰かと一緒に歌う時、人は自ら歌いながら人の歌を聴き、聴きながら歌う。想いを共鳴させるように——。合唱に心動かされる理由が、自分なりに少しあわかった気がしました。

総局長になって半年になります。これからもできるだけ演奏会場にお邪魔して、「歌っていいな」とカタルシスを味わいたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

SAITAMAコーラスワークショップ2017

磨け 私たちのうた そしてうたごころ

6月3日(土)埼玉会館・10日(土)さいたま市文化センターにて、各日大ホールで第62回埼玉県合唱祭が行われる中、SAITAMAコーラスワークショップ2017を実施しました。埼玉会館では小ホールを会場として、全日本合唱連盟理事長・岸信介先生を講師にお招きしてA NHKコンクール中学校の部課題曲の講習(女声)、B「燕の歌」を歌おう(混声)を行いました。いずれも受講者が事前に譜読みを済ませて参加する講座です。岸先生は浦和



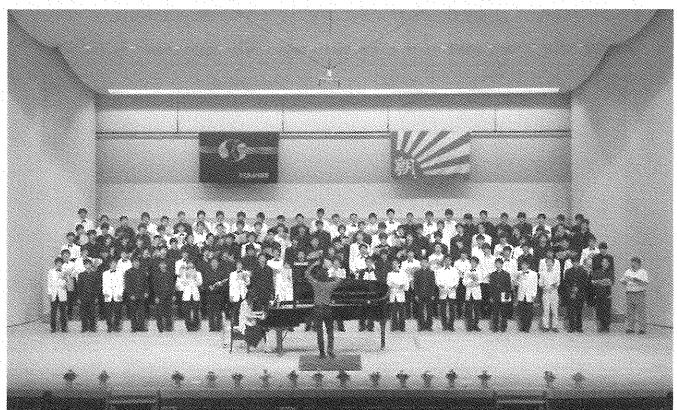
「講座A」成果発表

のご出身で、浦和混声・浦和女声・蕨女声など県内の合唱団を長年の間指揮指導なさり、また県外の合唱団もたくさん指揮指導なさりご活躍中です。2講座ともあつという間に岸先生の音楽の世界に誘われ、幸せな時間を過ごすことができました。B「燕の歌」は生まれたばかりの新しい曲なので、少々ハードルの高い講座のように思われましたが、受講した方々にとっては大変充実した講習になったのではないでしょうか。

さいたま市文化センターでは、千葉県立千葉女子高校の鬼島孝子先生を講師にお招きしてC NHKコンクール中学校の部課題曲の講習(混声・参加型)、E 全日本合唱コンクール課題曲へのアプローチ(聴講型)の2講座を実施しました。Cでは鬼島先生の高等学校混声でのご指導経験を生かした温かく丁寧なご指導を受けました。Eは浦和一女音楽部をモデル合唱団とし「F 3再会」を、発声を中心として大変詳しくご指導いただきました。D 男声版「くちびるに歌を」を歌おう(参加型)では、声楽家・羽山晃生先生が歌い方を



「講座B」成果発表



「講座D」成果発表

中心にご指導され、かつ指揮をしてくださり全体をまとめ素晴らしい成果発表となりました。F うたって！おどって！ジュニアあつまれ！（参加型）宮ヶ原千絵先生に振付・ご指導をいただき、ディズニーの合唱曲に華を添えました。たくさんの皆様にご協力をいただき、どの講座も大変充実したものとなりました。ありがとうございました。

（常務理事 小松 直詩）



「講座E」鬼島先生の講習の様子

うたって！

おどって！

音楽っこ楽しい!!

講座F

♪ 参加してくれたみんなの声を紹介します。♪



うたについて…

- 他の合唱団の歌声が聴け、一緒に歌えて良かったです。
- 踊りに専念しすぎて、声が小さくなかったと思います。
- 「スパカリ…」の発音が難しかったのですが、本番は間違えずに歌えてうれしかったです。
- とても多い人数で歌ったので、きれいでハモって、良かったです。



振り付けの宮ヶ原先生

振り付けについて…

- 振り付けが曲に合っていて、良かったです。
- 教え方が上手いので、こっちもノリノリできました。
- 振り付けを完璧に覚えられたときは、うれしかったです。
- 「スパカリ」の振り付けが面白かったです。



振り付け講習の様子

他の団との交流…

- 普段触れる事のない合唱団と一緒に思い出が作されました。
- みんなが一つになるってすごいと思いました。
- 他の合唱団とも交流できたので、良かったです。
- また、一緒にやりたいと思いました。



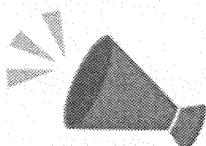
成果発表

楽しがつた♡♡

- 踊りながら歌って、楽しかったです。
- たくさんの人たちと歌えて気持ち良かったです。
- 楽しい曲だったので、自然と笑顔で歌ったり踊ったりできた！
- 踊りと歌を一緒にやる機会があまりないので、今回、踊れてとても楽しかったです。

ジュニアコーラス 9 団体、総勢137名が 1 つになり、楽しく美しいコーラスを聴かせてくれました。来年 3 月 21 日の 60 周年記念演奏会で再び集まります。

事前練習からのみなさんの様子やいただいた感想すべてをホームページにて紹介しています。是非ご覧下さい！



第 62 回

埼玉県合唱祭

歌声をつなぐ合唱の祭典

平成29年6月の土日、埼玉会館、さいたま市文化センター、熊谷文化創造館にて5日間にわたり埼玉県合唱祭が行われました。今年で62回目、参加団体250団体。参加人数は6,211人でした。お手伝いくださった係員さん、なんと291人。このみなさんのご協力がなければ合唱祭は成り立ちません。遅い時間までかかったり、いたらないこともありますのに、ニコニコとお手伝いいただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

ステージも外の暑さに負けないくらいの熱気と温かい拍手に湧いた5日間でした。10人以下の団から130人超えの団、また可愛らしいジュニアから全国レベルの高校、一般の団、涙が出るような説得力のあるシルバーの団と、多彩でたいへん聴き応えのある毎日だったと思います。

東日本大震災後に福島県の中学生の言葉を集めて生まれた曲「群青」を歌った団がありました。辛い思いをした人たちに歌い手の深い愛情が溢れ出ていて、私はこみ上げる涙を必死でこらえました。「自

転車をこいで君と行った海」、目に浮かぶような中学生の色彩豊かな日常からクライマックスに向けて、聞き手の感情も共に高まっていきました。理不尽な離別という、とても受け入れきれないつらい経験をしている彼らに、私たちは決して忘れない、応援し続けると心の底から思いました。私たち合唱人に何ができるか、それはやはり歌い続けること。そしてたくさんの人たちと気持ちを共有することではないでしょうか。まさに歌い手と聞き手、会場中がひとつになった時間だったと思います。

来年度も6月、今年と同じ会場で開催

いたします。長い練習を経て真摯に向かう7分半のステージ。みなさんが納得のできる気持ちの良い演奏をしていただけるよう準備しております。どうぞたくさんの団のご参加お待ちしております。
(常務理事 南 めぐみ)



全員合唱の指揮をする
小野瀬理事長



会場の様子

撮影：埼玉県合唱連盟

初出場団体の紹介

いっしょに歌の輪を作りましょう

埼玉県立桶川高等学校合唱部

顧問 小暮朋子

初めて参加させていただいた合唱祭は、ステージに上がるという経験以上に、様々な団体の合唱を聴き感動するという濃厚な一日となりました。昨年度、やつの思いで合唱同好会を立ち上げ、今年度は合唱連盟に加盟し合唱部として初めての合唱祭を10名の部員で楽しめました。緊張しつつも普段の合唱ができ、会場から温かい拍手もいただき感激していました。

昨年は5名の女声合唱で活動し、桶川の合唱フェスタで「涙が出ました。」と励ましのお言葉を直接いただいた部員たちは、心底嬉しく有り難い経験をしました。今年は10名の混声で無伴奏作品に挑戦しています。これからも様々な感動体験を通して成長していくたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



撮影：スタッフ・テス(株)

第 40 回

全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2017年7月1日(土)・2日(日) 於: 栃木県宇都宮市／栃木県総合文化センター

埼玉県の出演団体の結果 (出演順に記載)**7月1日(土)**

ピアチーレ
Cor Fresca
女声合唱団 悠はるか
浦和女声合唱団
プチトマト
Cache-Cache

7月2日(日)

大会賞	ソフト・ヴォーチェ	大会賞
大会賞	T-Croce	優良賞
大会賞	コーラル・デイジー	優良賞
優良賞	コーラル・ソシア	大会賞
大会賞	Tea Time コーラス	大会賞
優良賞	ヴォーチェ・ビアンカ	優秀賞
	コール・ドルチェ	優良賞

お知らせ

来年は埼玉で関東大会が開かれます。
平成30年7月7日(土)・8日(日)
会場は所沢市民文化センター
ミューズ／大ホール
皆さんで大会をもり上げて
いきましょう！

ヴォーチェ・ビアンカ**団長 小林秀子**

第40回全日本おかあさんコーラス関東支部大会が7月1日、2日に栃木県総合文化センターで開催されました。私たちヴォーチェ・ビアンカは総勢66名で出演し、両日で一番大人数の団体でした。会場が近かったこともあり、男声合唱団ひろ・コラリーアーずの方々、友人、家族と40名以上の応援もありました。埼玉県の大会が選考も取り入れる様になり4年目になります。私たちは連続4年関東大会に出演していますが、3回優良賞でした。今年は何とかして優秀賞をいただきたいと念じておりました。しかし、団員は熱意は有りますが、普通のおかあさんで音楽大学出身者はいません。楽器である姿勢、発声法、音楽的表現力等、すべて鎌田先生おひとりでご指導されています。毎回のレッスンごとに、図解、文章などでわかりやすく書いて説明してくださっています。当日の演奏は66名が心を一つにして、会場いっぱいに美しい響きを届けることが出来ました。結果は優秀賞を受賞することが出来ました。本当に嬉しく、先生に感謝の気持ちでいっぱいです。審査員の先生方から、「言葉がはっきりしている」「声が美しい」「音楽の力がすごい」などの講評をいただきました。これからも支えてくださる皆様に感謝の心を持ち、前進して参りたいと思います。



優秀賞・ヴォーチェ・ビアンカ

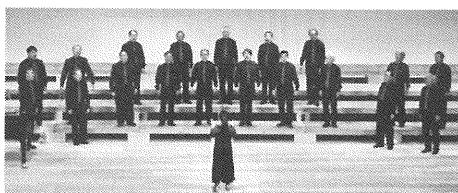
撮影：株式会社トライフ

第6回全日本男声合唱フェスティバルin小樽

2017年7月8日(土)・9日(日) 於: 北海道小樽市／小樽市民会館・小樽市公会堂

男声合唱団 ヴィヴ・ラ・コンパニー**百崎直也**

日頃は埼玉県内で別々に活動している男声合唱団の有志19人が集い、男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニーとして南めぐみ県連常務理事の指揮のもと、7月の北海道小樽市にて開催された第6回男声合唱フェスティバルに参加しました。岡山・京都・高知に次いで4回目の出演ですが、涼しいはずの北海道も連日30度超えて、埼玉と変わらぬ暑さでした。初日は2組に分かれ合同合唱の練習で、清水敬一先生と広瀬康夫先生による、北の大地に根ざした厳しい自然や小樽の雪景色を詠う「海鳥の詩」「雪明りの路」の熱心な指導を受け、合同演奏では、約200人の男声による大合唱、その迫力は圧倒的で会場に響き渡りました。夜は港のホテルにて交流会が開催され、各県の役員に県連小野瀬理事長や須田常務理事も加わり、全国から集まった男声合唱団



愛好家仲間共々飲んで歌って親交を深めました。翌日の我が合唱団の演奏は、「ヴィヴ・ラムール」「酒頌」「終電車のブルース」と酒飲みの歌3曲、小樽出身者のパフォーマンスを交え前日の酒の余韻も残る演奏でした。今回は、地元以外からの参加が7団体と少なく、少し寂しい感がしました。来年は6月30日から7月1日に、静岡県伊豆の国市で開催されます。

第60回

埼玉県合唱コンクール

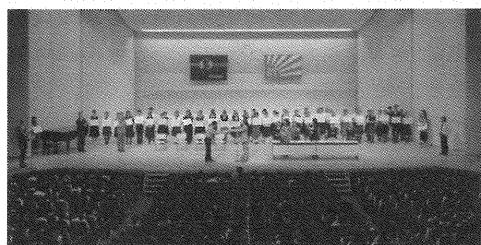
今年も一音入魂♪熱き戦い

第60回埼玉県合唱コンクールを終えて

第60回埼玉県合唱コンクールは、8月19日(土)高等学校部門、8月20日(日)彩の国、大学職場一般部門(室内、同声、混声、大学ユース)、8月27日(日)小学校、中学校部門(混声、同声)と3日間にわたり、さいたま市文化センターで開催されました。3日間の参加団体数は、小学校部門6、中学校部門(混声)15(同声)29、高等学校部門34、彩の国部門21、大職一般部門(室内)7(同声)10(混声)シード1含め5(大学ユース)シード1含め5、と昨年に比べ5団体少ない132団体、参加人数は合計で4,326人となりました。ご来場いただいた入場者は3日間合計で、昨年より80人多い3,988人と数多くの方々にご来場をいただきました。

運営にあたり多大なるご協力を賜りました審査員の先生方、スタッフ係員役員の皆様、協力ご後援をいただいた関係各位に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年の大会は、全日本行事との兼ね合いから、昨年より高校部門が1週間、彩の国・大職一般部門が2週間ほど早い日程での開催となつたため、各団皆様の準備/練習スケジュールなど大変ではなかつたかと思います。しかし



ながら、いざ本番が始まつてみれば、そのハンデを全く感じないハイレベルで素晴らしい演奏が続き、安堵いたしました。



関東大会へ県代表として進まれた団体の皆様、本当におめでとうございます。更なる練習を積まれ、「激戦の埼玉」代表として関東大会での大いなるご健闘を期待いたします。その一方であと一步の所で涙をのんだ団体、代表とは本当に僅差・紙一重の差であったと思います。来年に向けて研鑽に励まれ更なる飛躍を期待いたします。

今年も運営にあたり多くの団体からスタッフのご協力をいただきました。高等学校、一般団体など20団体と例年になく多くの団体、延べ137人の方々のご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

特に初日の高校部門は、ホールの3階席までほぼ満員になるほど来場者が多かった事で、受付・チケット販売や、会場整理など非常にご苦労されて大変であったと思います。来年は各係の仕事分担、時間割なども見直し、適正な配置を含め対処していきたいと考えております。またのご協力、ご支援宜しくお願ひいたしたいと思います。

(常務理事 須田 信男)

撮影:スタッフ・テス(株)・埼玉県合唱連盟

第72回関東合唱コンクールの結果報告

平成29年9月30日(土) 高等学校部門A・B

10月1日(日) 中学校部門 混声・同声

10月15日(日) 大学職場一般部門 大学ユース・室内・同声・混声

} 於: 静岡県浜松市/アクトシティ浜松

} 於: 新潟県新潟市/新潟県民会館

★高等学校部門Aグループ

【金賞】 県立松伏高校合唱部

★高等学校部門Bグループ

【金賞】 敏明高校混声合唱団、星野高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ、県立松山女子高校音楽部、県立浦和第一女子高校音楽部

【銀賞】 県立熊谷女子高校音楽部、県立大宮光陵高校合唱団

★中学校部門 混声合唱の部

【金賞】 春日部市立武里中学校音楽部、さいたま市立宮原中学校合唱団

【銀賞】 春日部市立豊春中学校混声合唱団

★中学校部門 同声合唱の部

【金賞】 ふじみ野市立大井中学校音楽部、栄東中学校コーラス部、所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部

【銀賞】 蕨市立第一中学校音楽部、所沢市立向陽中学校コーラス部、春日部市立春日部中学校合唱部

【銅賞】 深谷市立幡羅中学校音楽部

★大学職場一般部門 大学ユース合唱の部

【金賞】 Chor OBANDES 【銀賞】 彩の国コンソーシアム合唱団 KIRARA☆Mixed

★大学職場一般部門 室内合唱の部

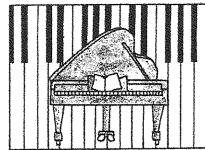
【銅賞】 Utabonne、合唱団「あべ犬東」

★大学職場一般部門 同声合唱の部

【銀賞】 La Mer 【銅賞】 Il Campanile

★大学職場一般部門 混声合唱の部

【金賞】 scatola di voce 【銀賞】 西武学園文理高校合唱部・M-T混声合唱団



下線の団体は全国大会への代表

教えて先生！審査のポイントどこですか？

江上先生、柏谷先生へのインタビュー

8月27日に幕を下ろした埼玉県合唱コンクール。その最終日の審査終了後に江上孝則先生、柏谷宏美先生にお話を伺いました。尚、両先生には小・中・高校部門の審査をしていただきました。



江上孝則先生

柏谷宏美先生

「コンクールの総評をお願いいたします。」

江上先生

高校のレヴェルが突出していると感じました。とくに男声コーラスの素晴らしさは全国有数です。その中で課題として見えて来たのは(う)の母音が浅い団体が多いということ。口の先しか使っていないという印象。しゃべりのポジションとは少し違う、口の奥を意識した、たて長の奥行きのある自然な(う)を目指してください。

柏谷先生

組織力、演奏力、そして層の厚さ。全国的に見ても群を抜いていると思います。特に高校は、そのことを強く感じます。男声合唱の充実が、それらに大きく貢献しているのではないかでしょうか。

課題としては、他の審査員の先生方も言っておられましたが、楽譜と歌詞に対する読み込みかたに、更に積極的な取り組みが必要ということ。特に小・中学校は発声とアンサンブルが整うと、それで満足してしまいがち。その先にある作曲家や詩人が求めているもの。その世界に入っていくか?一方で、中学校部門の有志合唱団などは時間のない中、よく頑張っていると思いました。心から敬意を表したい。

「続いて先生方が審査員として演奏を評価する際の観点を教えていただけますか？」



江上先生

強弱についてですが、「p(ピアノ)は弱く、f(フォルテ)は強く」と言うようにシンプルに演奏されることが多いですね。pは優しさ、甘さ、温かさなど。fには力強さ、豊かさ、広がり等の意味がある。そのデュナーミクがどういった性格のものなのか?その答えは言葉から来るものであるはずです。語感を意識して歌えているかを「観点」として聴いています。例えば助詞の扱いについて。助詞が強調されることは特別な場合を除いて通常はありません。小節の1拍目に助詞が来ると強調してしまいかがります。詩の読み込み、朗読を練習に組み込むことも必要でしょう。更には演劇的な要素も取り入れ、詩のニュアンスを引き出す努力をしてほしいと思います。

柏谷先生

「基礎・基本」ができている団体は当然ながら評価が高くなります。発声の力、ハーモニーの力、発語力を主な「観点」としています。練習会場が狭いと、発声・ハーモニー・発語の満足感が得やすくなってしまいがちですね。しかし、コンクール会場のような大きなホールで歌う時には、その広さに見合った訴求力が必要になってくる。それらをクリアした後に、その団体の演奏の主張が見えてきます。「何を」表現したいのか?その「何を」に向かうとき、歌詞の読み込みの必要性、基礎力の向上意欲が生まれてくるのではないかでしょうか?

「来年のコンクールへ向けてのアドバイスをお願いいたします。」

江上先生

作曲家は詩を読み込んでイメージを膨らませ、音楽を創っていきます。だから言葉はとても重要だと思います。楽譜をいきなり読むのではなく、まずは詩を読み込み演奏家としてイメージを膨らませましょう。それから楽譜と向き合うという順番を実践してみてはいかがでしょうか?それを踏まえないと、聞き手に伝わらない日本語になる。例えば「ここにいる」は(い)の前に自然な言いなおしが必要になります。しかし、楽譜から入ると「ココニール」となってしまう。「むねのおぐ」も「ムネノーグ」となり言葉が伝わらない。詩の読み込みの重要性をもう一度考えていただければと思います。

柏谷先生

私も、詩の読み込みが重要だと思います。グループ読みやパフォーマンス読み。更には品詞の分析もしてみてください。動詞には動きが、形容詞や副詞には、その言葉に合った色がそれぞれあります。メンバー同士のディスカッションがあれば更に表現に深みが生まれるでしょう。

指導者が不在の時に、いかに質の高い練習ができるかを考え、工夫すると良いでしょう。団の自主性が高まり、それが音楽に良い影響を与えると思います。指導者は、いかに自発性・主体性の高い音楽づくりと組織づくりをするかを考えてください。そうすれば埼玉県の合唱は、さらなるレヴェルアップが期待できると思います。

長時間にわたる審査の後に、無理を申し上げ、インタビューに御協力いただいた両先生に心より御礼申し上げます。なお、今回は県のコンクールとしては初の試みということもあり、全9名の審査員の先生方を代表する形でお話を伺いました。彩の国・大職一般部門の審査員の先生方のお話しが伺えなかつた点はご了承いただければと思います。

インタビュアー：佐々木憲二理事 同席：小野瀬照夫理事長 撮影：浅子元理事



左から、佐々木理事、柏谷先生、
江上先生、小野瀬理事長

60周年 記念事業

たくさんの方々に支えられ60年
これからの飛躍を願って皆様と記念の行事を成功させましょう

理事長 小野瀬 照夫

埼玉県の合唱団の皆さん、平素より当連盟の事業等にご協力いただき、誠にありがとうございます。さて、予てよりお伝えして参りましたとおり、今年度は当連盟の60周年にあたります。これに際し、60年前に何もないところから立ち上げていただいた方々へと、今までの60年間支えてくださっている方々への感謝、そして未来に向かって更に進んで行かんとする合唱仲間の前途を祝す場を設けたいと思い、来年の3月21日(水・祝)にソニックシティで記念式典と記念演奏会を行うことにいたしました。

記念演奏会では、N響団友オーケストラの伴奏でなるべく多くの方と一緒に、気軽に歌える曲を歌えるよう準備いたしました。是非、多くの方々と一緒にご参加くださいますようお願いいたします。

演奏会

加盟団体の代表による、合唱祭の合同演奏のようなイメージで、男声、女声、中学生、高校生混声、一般混声のステージを設け、「オーケストラの伴奏で合唱を楽しもう」という企画です。事前練習は、女声と一般混声のみ行いますが、当日のみの参加も可能です。また、ジュニアは募集済みで、ピアノ伴奏で振付がある楽しいステージがあります。1次申込は過ぎましたが、まだ女声以外は余裕がありますので、是非早めにお申込みいただき、皆さんで楽しいステージを作りましょう。

(副理事長 浅井 一郎)

記録集

埼玉県合唱連盟では、連盟創立60周年記念事業の一環として、記録集をまとめています。これは過去10年間の合唱祭、コンクール、SVECなど連盟の各種事業に参加出演した団体の発表曲、成績などをまとめたものです。連盟各理事の協力でデータをまとめ、これを現在精査しており、今年度中には連盟ホームページにアップしたいと考えています。

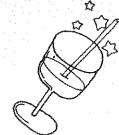
各合唱団の過去を振り返りながら、未来を見つめる資料として大いにお役立ていただきたいと考えています。

(副理事長 本田 尚子)

祝賀会

60周年記念行事の一環として、式典、記念演奏会の終了後、祝賀会を開催いたします。ここではご来賓の方々をはじめ、ご参加の皆さんにお寛ぎいただきながら、60年の歴史とこれから埼玉県合唱連盟とともに語り合っていただけるひと時になればと計画しております。乾杯！

(副理事長 小島 嘉子)



彩の国プラチナ混声合唱団

ゆめの舞台へ

第9回国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブin横浜

2017年4月10日(月)~12日(水) 於:神奈川県横浜市/横浜みなとみらいホール

「いきいきと楽しく歌いましょう」と、埼玉県合唱連盟に加入している、シニアの合唱団の皆さんを中心に、お声をかけました。《彩の国プラチナ混声合唱団》というステキなネーミングも決まりました。「何人ぐらいの方が参加してくださるのかしら」との心配もありましたが、120名を超える方々の参加をいただき、心から楽しんで歌うことができました。

1月に練習を開始し、6回の練習を計画しました。練習会場は、大宮、浦和を中心に公民館を予約しました。参加された皆さんの中の明るさ、前向きな雰囲気のおかげで、お休みされる方がとても少なく、パワーあふれる練習ができました。

3月の「おかあさんコーラス大会」にゲスト出演させていただき、1回目の舞台を終えました。私はこの日、客席で聴かせていただきましたが、皆さんの声のきれいなことにまず驚き、次に音楽の作り方に感心いたしました。

大きなゆめの舞台に向かって練習をしてきているわけですが、不安も少なからずありました。しかし、「1か月前にこれだけの演奏ができればきっと大丈夫」と、嬉しくなりました。そして、「おかあさんコーラス大会」で歌ったことは、とても大きな自信につながったと思いました。この演奏から、皆さんの気持ちもさらに高まり、とてもよい練習を重ねていきました。

そして、4月11日について、ゆめの舞台を踏みました。他の団体の様子もわからず、ただ楽しく歌いたいという思いだけで演奏しました。曲は“アヴェ ヴェルム コルプレス”“河口”的2曲です。素敵なかいと場と素晴らしいホール。歌い終えた皆さんには、笑顔がいっぱいでした。



エネルギーに合唱団をひっぱる蓮沼常務理事の指揮と、合唱団の声にそって、何倍も美しい合唱に導いたピアニストの持田理事。お二人の大きな力も加わって、みごと、初参加にして「うるわし賞」をいただきました。心よりお礼申し上げます。

(理事 大館 雅子)

男子高校生コーラス部員の日常生活

大切にしよう さいたまにはまだまだいますよ ー高校男声合唱生ー



一つ一つに全力で

埼玉県立浦和高等学校グリークラブ

部長（3年）諏訪智也

その演奏会のお客様はそのときにしかいらっしゃらない——演奏会でのお客様との出会い、そして1回1回の演奏機会を大切にする、という理念から顧問の先生がおっしゃった言葉で、浦和高校グリークラブがモットーとしているものである。

普段は「グリーメン」と称される部員たち。和気藹々とした雰囲気の中で、合唱に対して真剣な眼差しで向き合う。どうすればもっと良い演奏ができるのか、お客様にお楽しみいただける演奏とは何か、いろいろなことに考えをめぐらせながら歌う。

合唱に対してひたむきなグリーメン。それぞれの趣味は多彩である。「音ゲー」に明け暮れる者もいれば、将棋を指す者もいる。「ボカロ」に夢中な者もいれば、鉄道にやたら詳しい者もいる。部室は共通の趣味や話題を持つ者同士の会話でつねに賑わっている。グリーの団結力はここから生み出されているのかもしれない。

もちろん、グリーメンは勉強もおろそかにはしない。グリーには代々伝わる「部活は勉強への充電、勉強は部活への充電」という言葉がある。部活をするときは部活に集中する。勉強するときは勉強に集中する。このサイクルが上手くいかなければ「充電」は完了しない。その時々で何をするべきなのかを考え、やることによって頭を切り替える。

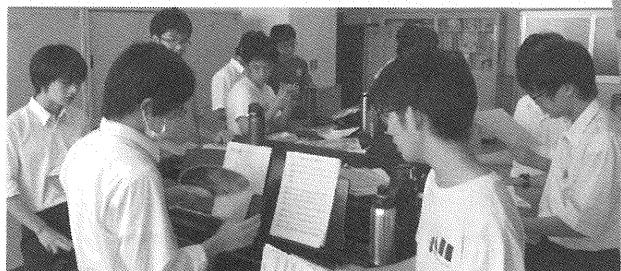
部活と勉強を両立するには時間も上手に使わなければならない。始業2時間前に教室へ来て勉強する者もいる。というのも、放課後は部活をはじめ、生徒会や委員会の活動で忙しいからだ。

両立てきている者に共通しているのは普段の授業を大切にしているということである。自主学習の時間がなかなか確保できないのならば、身に付けるべきことはすべて授業内で身に付けてしまおうというのである。

だが、大切にしているのは英語や数学など受験に使う教科だけではない。浦和高校は男子校だからか否か、授業はやはり体育が最も盛り上がる。グリーメンも文化部員ではあるが、中学時代は運動部に所属していたという者が多く、思い切りスポーツを楽しむ。

といった具合にグリーメンの生活は非常に充実している。どの場面でも共通しているのは「目の前の物事に全力で向き合っている」という事である。男子校なので「女子に飢えている者」

(?) もひょっとしたらいるかもしれないが、現実にはむしろ「男子だけ」という環境をいろいろな意味で楽しんでいる。「絶滅危惧種」とまで言われる男声合唱。その魅力を感じつつ、今日も歌うのである。



新理事・監事紹介

佐々木 憲二 理事



星野高校音楽部の顧問になり今年で10年目になります。これまで多くの御導きをいただきました埼玉県合唱連盟の皆様に少しでも恩返しがしたいと考え、お仲間に加えていただきました。微力ながら粉骨碎身頑張らせていただきます。

三森 敏 理事



この度、理事になりました三森(みもり)敏(さとし)です。小学校で30年以上合唱と係わってきました。この間、子どもたちの歌声に魅了され、玉手箱の煙のように気づけば定年をむかえました。まだまだ合唱がやりたくて色々と活動しております。これから連盟のため、小学校のため恩返しの気持ちをこめて、微力ではございますが一生懸命仕事をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

生倉 みゆき 理事



今年理事になりました生倉です。子供の頃に始めた合唱が人生の大半を占めるものになるとは思っていませんでした。自分を育ててくれた合唱へ感謝と敬意を込めて、同じ志を持つ皆様のお手伝いをしたいと思います。

岩崎 祐子 理事



こんにちは。連盟参加団体・「おかあさんの部」の一人として、皆様の合唱活動がより楽しく、快適なものになりますようお手伝いをさせていただきました。微力ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

浅川 清 監事



今年監事になりました浅川 清です。久喜市の男声合唱団「コール・グランツ」で歌っています。パートはトップテナーです。合唱連盟の監事という役職は初めてですが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。

キャラクター投票結果報告 決定！オリジナルキャラクター！可愛がってね

【埼玉県合唱連盟オリジナルキャラクター「20番」に決定！】



3月に書面・新聞等で募集いたしました、オリジナルキャラクター制作に、27作品の応募をいただきました。

6月に行われました埼玉県合唱祭5日間で掲示・投票を、その投票結果を参考に検討させていただいた結果、20番の作品に決定いたしました。

今後、各事業のプログラム・楽譜・その他印刷物にこのデザインをアレンジして掲載していきます。

作品にご応募いただいた皆様、合唱祭で投票にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。
(理事 須藤 るり香)

印東公民先生の四コマ漫画コーナー

合唱あるある

◆知られざる合唱部の日常◆



Tact vol.24



指揮者 古澤 泉

埼玉県合唱連盟60周年おめでとうございます。記念すべきパウゼにお話する機会を頂き、心から感謝いたしております。さて、私事ですが、関西学院中等部に入学した時、入学式に高等部のグリークラブがお祝いの歌と校歌を歌いに来てくれました。とても素敵なかへモニーを奏で、綺麗だなあ～とうつりしていました。その式典が終わって外に出ると部活動の勧誘合戦で、比較的体格の良かった私は、何と相撲部とラグビー部に誘われました!関西学院といえば当時、男声合唱とアメリカンフットボールの全盛期。しかし、そんなことは高校と大学の話で、中学生に成り立てる私には全く知らない事でした。そして今思えばこの日は私の一生が決まった日でした。当然入学式には母も一緒に参加していましたのですが、彼女の意見は絶対的で…ラグビー?相撲?どちらもないわ、そうだあの合唱団なら怪我はしないから♪…こうして私

は合唱部に入り、そこから高等部のグリーを経験して、大学のグリーに入る筈でしたが、大学の入学式の前に父が他界!仕方なく何と宝塚歌劇団のバックコーラスでバイト、そこで知り合った先輩に引き抜かれ、プロクワルテットに参加!しかしここで一念発起して芸大を受験、21才で合格、その後大学院、ベルリン芸術大學卒業、帰国後、声楽家として演奏活動を続けてきました。そしてこの帰国した時から女声合唱団とのお付き合いが始まったわけですが、私自身合唱の経験はかなりありましたし、生き甲斐でしたが、声楽を学びプロとして歌う様になってからは、どうしてもソロ感覚で団員の皆さんに接してきた様です。発声もある時期からオペラの合唱の様に個人の可能性を高めて音を合わせてみようとか、表情は言葉で説明しきれない時は自分で歌って…はい、真似をして♪…とやってから今度は楽譜の見方を説明するようになりました。自分のソロの様に作曲者の意図を楽譜の隅々まで見渡してどんな小さな事でも見つけ出す、そして楽譜に忠実に、また、歌詞のアクセントを忠実にとらえて表現しようと説明していました。僕はこの方達と一緒に音楽している…ある時…気が付きました!合唱団の皆さんに歌い、話し、導いて行く時…ああ、僕はこのメロディに対してこんな事を考えているのか!こんな風に表現しているのか!、こういう事を学んできたのか、等々!…自分がリストとして歌っている時には考えもせぬ本能的に、無意識にやっている事を口に出し、自分のやろうとしている音楽を確認してるんだ…という事に!そして僕と一緒に音楽して下さる皆さんは…僕の音楽を表現してくれる大切な仲間…言葉を変えれば、「素敵な媒体」「素晴らしい楽器」そして「僕の心」などと♪♪♪私と仲間が今以上にお互いの心に寄り添い、信頼しあって合唱を楽しみ、高めあって行ける事をこれからも願って頑張って参ります。

～それぞれの周年記念～

30周年

30周年記念演奏会を終えて

今年3月5日に川口リリア音楽ホールにおきまして、30周年記念演奏会を開催いたしました。コーラス関係者の方々、ご友人の方々と、沢山の皆様方にご来場いただき無事終える事ができました事に、団員一同、喜びと感謝の気持ちで胸が熱くなりました。

この「彩音」は前身は「ひまわりの会」という名称でサークルとして発足いたしました。指揮者は二期会会員の八重樫先生。その後松井先生に変わられたその年、平成4年に61団体が出場した「第15回全日本おかあさんコーラス関東支部大会」に初出場。そして優秀賞を頂きました。信じられない嬉しい結果に、夢見心地で夜、帰路に向かった情景は今でも心に蘇ります。

そして8月、「東京芸術劇場」(前年オープン)への出演。そしてまさかの「ひまわり賞」の受賞!みんなと手をとりあって、大喜び!その時の感激のビデオは大切にとってあります。

発足から今日まで様々な事がありました。歌う事の喜びは年齢に関係ないと思います。現在は小屋敷先生の指揮のもと、すでに2回演奏会を開催しています。今まで歌った事のないポピュラー曲。そして振り付け。新しい事への取り組みで、若返りに励んでおります!

女声コーラス「彩音」

伊東 由利子
赤枝 富美枝



♪私たちの場所

Stage

アルモニーア

代表 杉浦 裕美

様々な道を歩んできた6名の仲間が、「聴く人の心の琴線に触れるような音楽」を目指して集まりました。

ハンガリーで20年間ご活躍なさっていたチェリストの木内哲也先生に演奏解釈をご指導いただき、レッスンの度に音楽の奥深さを感じ、幸せなときを過ごしています。

結成3年目で、発表の場は多くはありませんが、その時に聴いてくださる方たちの心が私たちのアルモニーア（ハーモニー）で少しでも動いてくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

そして、ご指導いただいたことを、それぞれの仕事や活動の場で、子どもたちや仲間たちに還元できれば幸いです。

埼玉県立飯能南高等学校合唱部

顧問 吉原 美智子

飯南（はんなん）合唱部の部員は現在女子5名です。少人数を活かし、アンサンブルや独唱を楽しんでいます。部員はイタリア歌曲、ミュージカルナンバー、オペラのアリアにも挑戦し、独唱の楽しさに目覚めると、驚くほど表現力を伸ばします。個性を活かしたソロ曲や合唱曲を選曲するのは楽しく、副顧問の井上先生によるフルート演奏を加えたアンサンブルは、すっかり飯南合唱部の定番になっています。年3回の校内コンサートは、時には生徒オリジナルの劇やミュージカルなどもあり、足を運んでくださるお客様が年々増えていることは嬉しいことです。これからも聴衆の皆様との温かい交流のあるコンサートづくりを心掛けたいです。

川口市立戸塚綾瀬小学校むくろじ合唱団

顧問 橋本 萌

戸塚綾瀬小学校むくろじ合唱団は、4年生～6年生を中心としたメンバーで楽しく活動しています。本校正門横に「無患子」の木があり、毎年黒くて堅い実をつけ、学校のシンボルとして親しまれています。合唱団の名前も「無患子」からとったものです。創立当初からNコンに出場し、SVECや県音楽祭で演奏活動を行っています。

練習は休み時間や放課後、土曜日に行い、発声などの基礎練習を積み重ね、遠くまで届く声づくりに励んでいます。また、音楽朝会では全校児童のお手本として透き通った声を披露しています。

今後も「自分たちが演奏して感動する」「お客様を感動させる」ことを目標とし、練習に励んでいきたいと思います。

熊谷市立大里中学校音楽部

顧問 瀧口 小百合

ここにちは。私達は3年生3名、2年生3名、1年生4名の計10名の女子で活動しています。部員数は少ないですが、年間の活動は充実しています。地元の保育園や高齢者施設への訪問コンサートを定期的に行って、各々の年齢に合わせた選曲で一緒に歌ったり、振付を取り入れたミュージカルナンバーを楽しんでいただいたり、手遊び歌等も行い、楽しく交流しています。校内外の行事にも積極的に参加し、より良いパフォーマンスが届けられるよう努力しています。本校音楽部での「届けよう、聴いている人に一瞬の煌めきを、心に残る感動を。」のモットーを、普段の準備をしっかりと行い、集中して練習をしていくことで、実現させていきたいと思います。

ツイッター始めました。

@scl_from1957

フォローお願いします♪

編
後
集
記

Pause47号をお届けいたします。ワークショップ、合唱祭、コンクールの報告などと、今回はユニークな「男子高校生コーラス部員の日常生活」をお送りしました。お楽しみいただけたでしょうか。今後も皆様の豊かな合唱ライフのお手伝いを（理事 浅子元）



GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞

PO.HAUS

『nestle house』 -寄り添える住まい-

ポラスグループ グッドデザイン賞15年連続受賞!

住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

ポラス 楽天

ポラス株式会社（宅建業 国土交通大臣(11)第2401号(株)中央住宅）

